

平沢小

聞いて食べて地域を知る



これがイチオシ

校庭のアカマツが宝物

平沢小学校の校庭の真ん中にアカマツがあります。1933年、昭和天皇の誕生を記念して、地域で最も姿の良い松が移植されました。この松は現在も、学校のシンボルツリーとして児童だけでなく、地域の方々など多くの人々に親しまれ、大切にされています。暑い日に日陰をつくってくれたり、「だるまさんが転んだ」を遊ぶときに壁になったりと、私たちの成長を見守ってくれています。私たちも、松には登ったりせず、大切にしています。松は学校にとって1番の宝物です。

学校名 蔵王町立平沢小学校
住所 蔵王町平沢台屋敷62
創立 1873年
電話 0224(33)2024
校長 鈴木 晃
児童数 48人

私たちの学校では、年に1度ふるさと教室があります。平沢を知るための特別授業です。平沢小学校の卒業生で、蔵王町でお米や牛を育てている地域の方に、お話を聞いていただきます。私たちの質問にも丁寧に答えてくださいます。

授業の後、地元のお店のシェフや、地域の方が調理してくれたご飯を食べます。特別授業をしてくれた方が提供してくれた牛肉とお米、各学年が育てた野菜を、おいしいうち料理にしてくれます。お肉は柔らかくてとてもおいしいです。

地元食材学ぶ特別授業



地域の和牛とお米、学校で育てた野菜は絶品(せつびん)です

編集委員 浅沼美柚、大沼優心、大野煌牙、尾野遥輝、菅野桐真、鈴木彩未、鈴木愛夏、水沢昇彦(6年) 指導教員 氏家静香

わが校わがまち スクール通信



今回は 金津小(角田市) 泉松陵小(仙台市)

田植えや稲刈り手作業で

中埠小



これがイチオシ

ソーラン節 伝統つなぐ

5月の運動会では、毎年4~6年生で「中埠ソーラン」を踊っています。オリジナルの振り付けは、6年生が中心となって下級生に教えながら、伝統を受け継いでいます。

本年度も、4チームに分かれて振り付けや隊形移動を考えました。3人一組の最後のピラミッドポーズが一押しです。筋肉痛になるくらい練習して大変だったけど、本番はアンコールの拍手をもらってとてもうれしかったです。6年生にとって小学校生活最後の中埠ソーランは大成功でした。

学校名 美里町立中埠小学校
所在地 美里町荻塚朝日壇78
創立 1873年
電話 0229(34)2331
校長 熊谷 泰成
児童数 64人

昔ながらの米作り体験

中埠小学校の周りには田んぼがたくさんあります。5年生が、地域の皆さんに教えてもらいながら、昔ながらの米作りを体験します。5月の田植えははだしになって顔に泥を付けながら、田んぼ一枚に苗を植えました。秋には鎌を使って腰まで伸びた稲を刈り取りました。稲束は乾燥させ、千歯こきや足踏み脱穀機などで脱穀しました。

昨年度までは、育てたもち米であん餅を作ってもらい、全校児童で食べました。自分たちで作ったお米はとておいしかったです。

また、地域の方々と交流する行事として毎年2月、わかさ祭りを開きます。3~6年生がお店を考えて協力して運営します。1、2年生や幼稚園や保育所の子たちも遊びに来ます。昨年は脱穀体験やわかさ祭りを体験しました。お客さんが喜んでくれるとうれしいです。これからも、米作り体験やわかさ祭りを続けていきたいと思います。



地域の方に教えてもらいながら田植えをする5年生



3年生のカエルたたきの店で遊ぶ1年生

編集委員 照井李愛、荒川綾音、野村清将、丸正士朗(6年) 佐藤竣太郎、瀬ヶ沼悠斗、南智明希(5年) 大場想将、佐藤莉里雅、高橋橙梨、戸部結菜(4年) 指導教員 三浦佳奈、武田樹

大崎市鹿島台で毎年8月に開かれる「わらじまつり」に花を添える「鹿島音頭」を踊れる若者を育てようと、本番で踊り手を務める鹿島台連合婦人会が、地元の鹿島台中(生徒238人)の生徒たちに踊り方を指導した。

指導は9日にあった。同校が取り組む「ふるさと学習」の時間を活用。1年生70人が参加した。浴衣姿の婦人会のメンバーら6人の踊りを参考に、生徒たちはうちわを持ちながら手足の動きを覚えた。

子どもの頃から踊りを見ていたという大野真歩さん(12)は「難しかったけど、何とかこつはつかめた。今年はまつりに参加してみたい」と話した。婦人会の高齢化が進み、かつては200人以上いた会員も今は40人ほどまで減少した。会長は金沢とよのさん(83)は「昨年参加してくれた生徒もいて、これからも鹿島音頭を伝えていきたい」と話した。45回目を迎える今年のまつりは8月14日にある。

(7月18日朝刊より)

鹿島台音頭 次世代へ

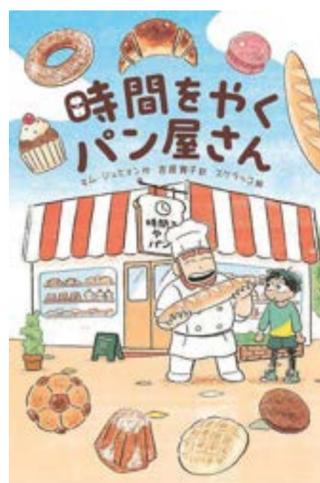
大崎市 婦人会が中学生に指導



浴衣姿で生徒と踊る婦人会のメンバー

時間をやくパン屋さん

キム・ジュヒョン 作
吉原 育子 訳
スケラッコ 絵
金の星社



覚えていたい時間 パンに

朝から母に怒鳴られ、学校では同級生のサルと大ゲンカした最悪な日。ピーターは家へ帰る途中、おいしそうなパンの匂いに導かれ、小さなパン屋さんを見つけます。

そのパン屋さんは、普通のパン屋さんではありません。お客さんが覚えておきたい時間の味と香りと触感をパンに焼いてくれる『時間をパンにやくパン屋』さんなのです。

次々と訪れるお客さんは、自分の楽しかった時間、うれし

かった時間をパンに焼いてもらいます。そんな中、ピーターはどんなパンを焼いてもらおうかと悩ませます。ピーターが注文するパンはどんなパンになるのでしょうか？

すてきな時間をいつでも思い出すことができるパン。あなたならどんなパンを焼いてもらおうと思いますか？ 小学校中学年から。

(宮城県図書館 佐藤加奈子さん)

